

阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 二、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 三、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 四、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 五、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくります。

平成 2 年

No.457

1 / 1

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 65-4111 番代 ☎754-12

広報あじす 毎月 5 日 発行
お知らせ版 毎月 20 日 発行



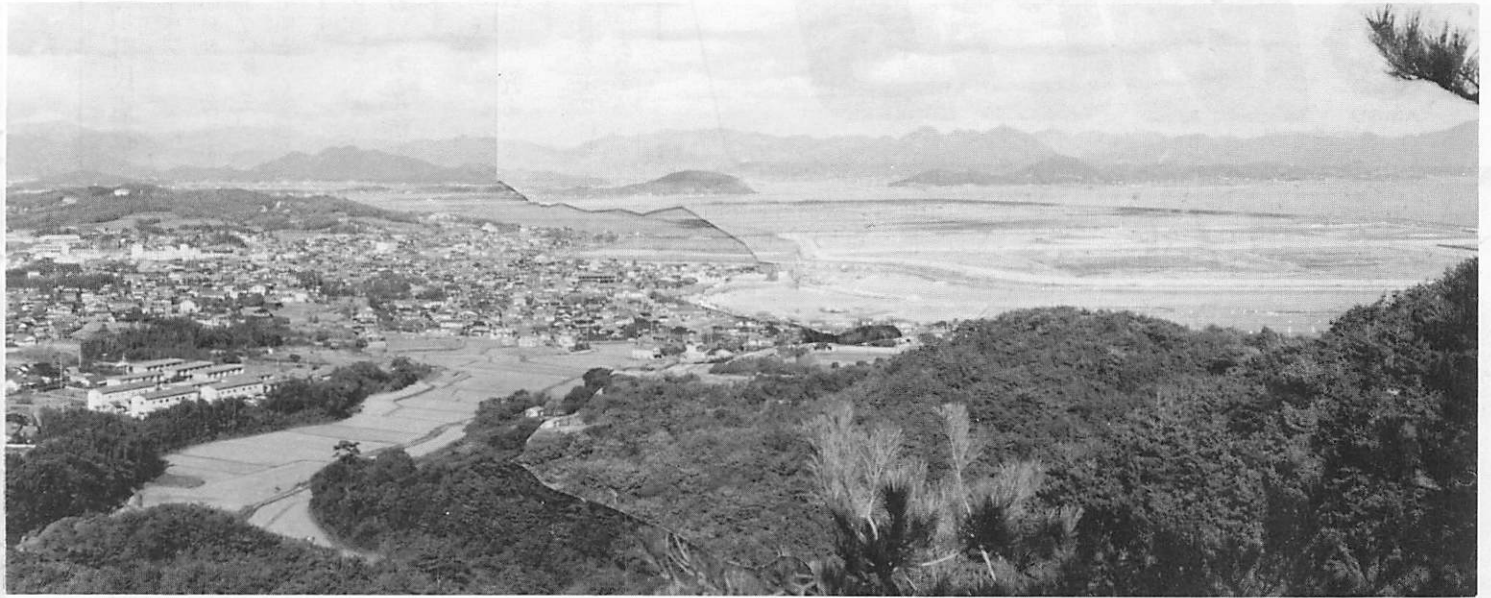
新たな飛躍へ

突っ走る!!

新しい年の到来。年号が平成に変わって最初の正月。西暦の一九九〇年代への台乗せ。そして、本町の町制施行五十周年。井関村から阿知須町へ「昇格」して半世紀経った。海辺のまち。緑化推進。レクリエーション地域としての施設整備。そこに「潮風と金もくせいの香る遊トピア」が生まれ、人が育つ。「生涯健康タウン」も阿知須のまちづくりスローガンの一つ。心身ともに健康な人が育ち伸びるまち。自分を磨き、人と競う。燃える情熱、あすへの挑戦。町制五十周年は新たな飛躍へのスタートの年でもある。

(写真は右から・敬称略)

- 山野修三郎 (河内)
- 哥川 公一 (河内)
- 本田 貢 (河内)
- 中川 俊浩 (前山)
- 国重 康彦 (砂三)
- 西村 泰昭 (浜表)



日の山頂上からの町内展望

「阿知須町」の歩み半世紀

50周年記念 意義ある年に

平成二年は阿知須町の町制施行五十周年記念の年です。これに合わせてお祝いの行事や将来に向けての事業など予定しています。また、町基本構想（長期計画）の目標年次が切れるので、この改訂をしたり、公共下水道事業の下水道管布設工事に着手したりしま

築工事も完了、来庁者に便利なような窓口配置に努めるなど、二十一世紀へ向けての郷土づくりを展開するなど意義ある年をめざしています。

町制五十周年記念式典は十一月三日を予定、これに向けて準備を進めます。「井関村」から「阿知須町」に変わった日、つまり、昭和十五年十一月三日が町制施行の日だからです。ことし中に行われる各種の催しは「町制五十周年記念行事」として盛り上げることにしています。

二月十一日（建国の日）には宇部・小野田広域市町村圏（宇部・小野田・美祿・楠・山陽・阿知須）のふるさとづくり推進大会を本町で開くことになっています。三市三町から約五百人参加します。これらの行事に、あなたも奮ってご参加ください。

記念事業は、町制五十周年記念事業委員会（岡村牧恵委員長）で審議、次のことを決めています。

- ①記念式
 - ②緑化推進（金もくせい植樹）
 - ③タイムカプセル埋設
 - ④文化・芸能行事
 - ⑤郷土の歌・踊りなど新作
 - ⑥絵はがき発行
 - ⑦広報紙縮刷版発行
 - ⑧町勢要覧発行
 - ⑨写真・記録収集
 - ⑩歴代町長・議長写真集め
- す。さらに、コミュニティ・マート（地域社会の商店街）関連の健康文化センター建設工事にも着手、中小企業庁指定の全国最初の事業実現をめざします。干拓に関係する事業も山口県の配慮により、着々と進んでいます。町制五十周年に当る年は役場庁舎の増



阿知須町役場	町長	飯田 宏史
阿知須町教育委員会	助役	山田 満雄
	兼重	藤井 直澄
	委員	積野 憲章
	委員	井本 操
	委員	真重 章
阿知須町議会	議長	松浦 有朋
	副議長	沢田 隆夫
	総務委員長	中村 徳男
	副委員長	松本 隆夫
	委員	長久 清忠
	委員	砂村 猛夫
	産業委員長	大下 義明
	副委員長	岡藤 豊
	委員	上野 政藤
	委員	正司 重徳
	委員	古田 博亮
	社会委員長	石川 二郎
	副委員長	桂 直樹
	委員	徳永 孝一
	委員	村田ツエ子
	委員	大田源太郎
阿知須町監査委員	委員	小林 武男
	委員	長久 清忠
阿知須町農業委員会	会長	松崎 照雄
	副会長	酒井 好孝
	委員	上田 太一
	委員	武永 輝男
	委員	中戸 秋吉
	委員	西山 泰
	委員	福永 陽吉
	委員	藤重 義春
	委員	前野千代治
	委員	松崎 正月
	委員	正司 重徳
	委員	山本 輝義
	委員	浜村 見一

社 会 報 告 部 編 集 室



50年後はどう変わる？

広域計画も新段階に

近隣と連携をはかりながら

本町をとりまく諸計画は、活性化計画は、すでに圏域内の宇部市、小野田市、美祿市、楠町、山陽町、阿知須町が一緒で委員会を設けて検討中で、三月までにはまとめる予定です。

テクノポリス計画は昭和五十九年三月に国の承認を得たものですが、その後社会情勢が急激に変化しており、見直しの必要が出ています。これは山口県と近郷四市四町で組織する宇部テクノポリス建設推進協議会で対応します。

広域市町村圏計画は十年経過したための改訂。地域経済

これからまちの発展を考える場合、広域的な視野にたち近隣の市町と連携を保ち、それぞれの役割を果しながら進むことが大切です。本町としては、計画策定の参画に当たって、地理的条件、自然的条件の有利な点を主張し、理解を得、さらに発展するよう努めていくことになっています。

平成元年の 主な足あと

- 2月 「たけしの元気の出るテレビ」に本町が舞台、全国放送
- 3月 町の木に「金もくせい」きまる
- 4月・5月 初の子ども町議会で一億円の使い方の意見発表
- 5月 まちづくり人づくり委員会発足、一億円を人材育成と産業振興の基金」に決定(8月)
- 6月 コミュニティ・マーケットに寿屋の進出決定
- 8月 阿知須小学校に岩国基地の子ども一行が訪れ交歓会
- 9月 役場庁舎増築工事起工
- 10月 電話の宇部局管内の市外局番統一
- 11月 インポート・バザールやフラーメンコの夕べ、ホームステイ実施
- 郷土出身者による「ふれあい講演会」第一回
- 12月 NHKテレビ「どこかでなにかが中国路」で本町を舞台に放送。



- | | | | | |
|-----------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 阿知須町選挙管理委員会 | 委員 長 松本 俊 | 委員 員 藤本 豊次 | 委員 員 白井 昭祐 | 委員 員 浜重 昌明 |
| 阿知須町明るい選挙推進協議会 | 会 長 釈野 憲章 | 委 員 岡村 太助 | 委 員 林 昇 | 委 員 松本 俊 |
| 阿知須町固定資産評価審査委員会 | 委 員 岡村 太助 | 委 員 林 昇 | 委 員 松本 俊 | 委 員 潮崎 一雄 |
| 阿知須町広報委員会 | 委 員 佐藤 昭典 | 委 員 山田 育子 | 委 員 須上 義治 | 委 員 松原 弘明 |
| 阿知須町民生児童委員協議会 | 総 務 員 繩中 勝人 | 副 務 員 田中 八十 | 委 員 磯金 明治 | 委 員 上村 定雄 |
| 行政相談員 | 委 員 工藤アツ子 | 委 員 安村 重男 | 委 員 藤井あい子 | 委 員 古谷 一成 |
| 人権擁護委員 | 委 員 松本 武 | 委 員 西山 和代 | 委 員 大田 徳久 | 委 員 田中 和子 |
| 阿知須中学校 | 校 長 山本 幹雄 | 兼 務 員 兼重 隆文 | 委 員 工藤 隆敦 | 委 員 吉岡 隆雄 |
| 阿知須小学校 | 校 長 岡本壽巳男 | 委 員 井関 浩次 | 委 員 井関 浩次 | 委 員 井関 浩次 |

昭和63年度 歳出18億7千万円を認定 一般会計決算

第4回町議会定例会

人権擁護委員に福重さん推薦

【改正】国家公務員の給与改定に準じて、本町職員の給与を四月に逆のぼって改定する。改定後の平均給料月額額は二十六万三千二百八十六円に。また六月の期末手当、勤勉手当は〇・一か月分ずつ引き上げ、年間の期末・勤勉手当は合計五・一か月分に。

【町減債基金条例の制定】地方債の償還の財源に充てるために資金を積み立てることを条例で定めた。積み立てる額は毎年の予算で定める。

【町消防団条例の一部改正】消防団員の年齢は「十八歳以上六十歳未満の者」となっていたので「六十歳未満」を削り「十八歳以上の者」とし、

上限の年齢制限をなくした。

【下水道使用条例の一部改正】給水施設の整備納付金や水道料金について口径百ミリ、百五十ミリの大型も認めることとして料金も新しく決定。

【工事請負契約の締結】①庁舎増築工事で雨もりなど新しく追加工事とする費用四百六十七万四千七百七十円を追加、計一億七千八百三十三万七千四百七十円に。②漁港の改修工事護岸工事費六十九万七千三百十円を追加、四千四百四十七万二千三百十円に変更。

【補正予算関係】一般会計は元年度予算を一億三千八百八十二千円追加して歳入歳出とも総額二十四億三千九十五万

二千円に。給与改訂によるものや広域水道企業団の負担金粗大ごみ、し尿投棄の委託、飛石地区の水路改修、野口地区の防火水槽新設、中学校や給食センター関係の補修・整備など支出の追加。

その他、特別会計（国保・老人保健・下水道）水道事業会計もそれぞれ補正。

【昭和六十三年度各会計の決算認定】一般会計は歳入十八億九千三百二十七万四千円、歳出十八億七千六百二十万六千円、差引き一千七百一十六万八千円の残。特別会計（国保・老人保健・交通共済・同和地区住宅資金貸付、同和福祉援護資金）もそれぞれ黒字。

4月から税率引き下げ

都市計画法税

0.30
100を0.25
100に

この議会で本町の都市計画法税の一部改正がきまり、平成二年四月から都市計画法税の税率が〇・〇五引き下げられることになりました。

都市計画法税は都市計画事業を行う市町村が、その事業を遂行する目的で課す税金です。そのためには地方税法に基づいて、市町村の条例に課税対象の区域や税率を定めることになっていきます。

本町の場合、町内全域が都市計画区域に入っており、町内にある土地・家屋が課税対

象です。現行の税率は課税標準額の百分の〇・三ですが、四月からは百分の〇・二五に下がります。

例えば、土地などの課税標準額が百万円であれば、現行は三万円ですが、これが二万五千円に変わります。

この引き下げによって町の収入は年間約九百万円減る見込みです。

近郷では小郡町、山陽町、山口市、宇部市が地域を限定して課税しています。税率は百分の〇・三が殆んどで、百分の〇・二五は一町だけです。

〔町一般職の職員給与の一部

平成元年第四回町議会定例会は十二月八日から二十一日まで開会、町長提出の諮問一件と議案十八件の全部を原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

〔人権擁護委員の推薦について〕委員二人のうち一人が二月末で任期満了となるので後任に町内三四五番地（岩辻）の福重常代さん（五七）を推薦することに。この議会の意見を求めた結果、全員賛成。

町長はこれに基づいて法務省へ福重さんを推薦、委嘱が決めれば三月一日から三か年の任期となる。

〔区納税組合長〕

小古郷東	杉村 清
小古郷西	福岡 弥重
小古郷南	網広 治
前山	橋本 明男
北祝	林 国男
石川	和雄



- | | |
|---------------|-----------|
| 小郡警察署阿知須派出所 | 所長 田中 秀穂 |
| 阿知須町消防団 | 団長 白井 昭祐 |
| 阿知須町社会福祉協議会 | 会長 福永清二郎 |
| 小郡文通安全協会阿知須支部 | 支部長 福岡 實 |
| 防犯連絡所指導員会 | 会長 酒井 好孝 |
| 阿知須町体育協会 | 会長 飯田 宏史 |
| 阿知須の文化を高める会 | 会長 兼定 彰 |
| 阿知須婦人会 | 会長 竹本 鈴子 |
| 井関婦人会 | 会長 江本紀代子 |
| 老人クラブ連合会 | 会長 岡村 牧恵 |
| 子ども会育成連絡協議会 | 会長 大沢 義雄 |
| 遺族会 | 会長 繩中 勝人 |
| 母子寡婦福祉会 | 会長 井上ミサホ |
| 更生保護婦人会 | 会長 尾上 孝子 |
| 身体障害福祉更生会 | 会長 児玉 三男 |
| 環境衛生組合連合会 | 会長 徳永 孝一 |
| 阿知須町農協同組合 | 組合長 山本 輝義 |
| 阿知須漁業協同組合 | 組合長 長久 清忠 |
| 阿知須町商工会 | 会長 野村 大象 |
| 吉南信用金庫阿知須支店 | 支店長 野村 博之 |
| 山口銀行阿知須支店 | 支店長 手嶋 哲雄 |
| 阿知須郵便局 | 局長 伊藤 俊彦 |
| 同仁病院 | 院長 西田 健一 |
| 共立病院 | 院長 三好 正規 |
| 白松苑 | 苑長 伊藤 收 |
| 清光園 | 園長 藤野外茂樹 |

下水道事業が始動

五年後に一部使用めざす

公共下水道の整備は、住みよいまちづくりの第一条件です。町民アンケートの中でも「下水道整備」の要望が一番多くみられます。町ではこうしたみなさんの声にこたえるために、下水道整備の準備を進めてきましたが、法的手続きが済み、実現へ向けて動き出します。

その要点を阿知須町公共下水道基本計画でみると

①処理区域は町総面積二千五百二十九ヘクタールのうち約十分の一に当たる二百五十九ヘクタール、七千三百人を対象

②終末処理場は干拓地の南端に設ける。

③終末処理場は宇部市と共用する。宇部市の処理区域は西岐波、東岐波の一部（吉田、村松、沖田、丸尾、岐波、日の山、扇田地区）。

④計画完了の目標年次は平成二十二年（西暦二〇一〇年）

⑤事業費は現時点での試算額は阿知須町約五十五億円、宇部市約二百一十六億円。別に共同施設（処理場）が約六十九億円となっています。

この下水道事業を宇部市と阿知須町が一緒に行うことは昭和五十一年に双方が合意しており、これに沿って準備を進めてきました。現在、本町

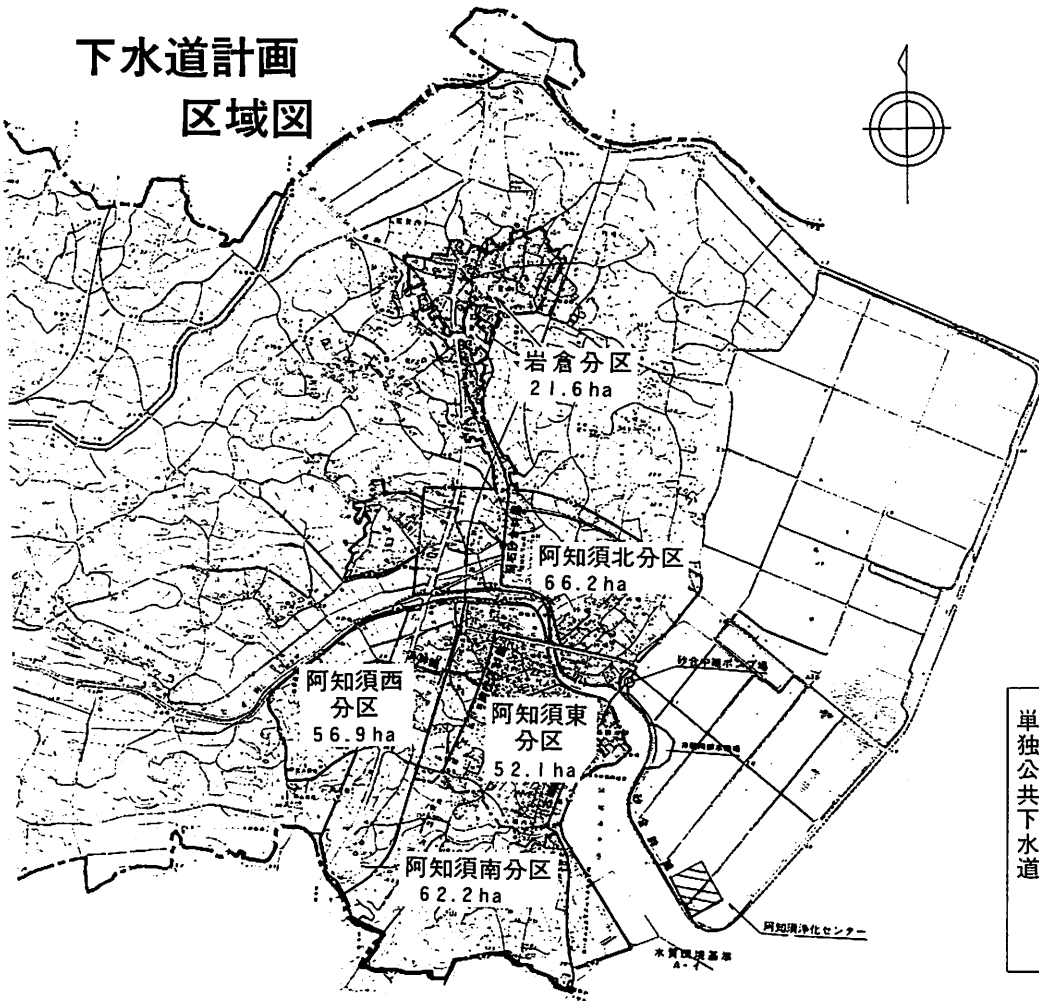
のし尿は宇部市の東部処理場へ車で運び、そこで処理してもらっています。

工事の順序としては工区を分けて、干拓に近い方から実施し、平成七年春から順次

使用できるようにする予定です。

工事着手に当たっては国の事業認可が必要です。現在、申請中で、この認可があり次第第一期工事の計画概要について本紙で紹介する予定です。

下水道計画区域図



単独公共下水道 (阿知須処理区)	全体計画区域	259 ha
	都市計画決定区域	205 ha
	第1期事業認可区域 供用開始予定	94 ha



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|------|------|------|----|----|----|----|-----|-----|----|----|-----|----|
| 焼野 | 青畑 | 仙在 | 引野 | 向野 | 源河 | 河内 | 杖川 | 野口 | 井関 | 赤迫 | 浜表 | 岡松 | 門松 | 旦北 | 旦西 | 旦東 | 岩倉上 | 岩倉辻 | 岩倉前 | 岩倉西 | 沖原 | 飛石 | 砂郷三区 | 砂郷二区 | 砂郷一区 | 浜内 | 寺河 | 西条 | 中村 | 縄田北 | 縄田南 | 東地 | 築地 | 恵比須 | 南祝 |
| 石川 | 末弘 | 有富 | 山根 | 堅田 | 沢田 | 松永 | 桜井 | 重永 | 水本 | 小松 | 松永 | 松本 | 安光 | 井上 | 渡辺 | 藤永 | 磯部 | 堀部 | 石田 | 茂木 | 田辺 | 清水 | 岡中 | 平岩 | 中村 | 大浜 | 岩井 | 幡生 | 中村 | 辻岡 | 上野 | 門出 | 工藤 | 磯部 | 林 |
| 勇 | 正一 | 敏英 | 良登 | 隆夫 | 輝夫 | 仲二 | 亮也 | 幸雄 | 徳雄 | 勝登 | 哲雄 | 康陽 | 英昭 | 武士 | 正 | 信一 | 義彦 | 忠治 | 洋三 | 敏彦 | 克己 | 博 | 清 | 真治 | 幸男 | 昭二 | 宏治 | 将夫 | 辰彦 | 俊政 | 敏甫 | 太作 | 榮 | 経康 | |
| 同 | 同 | 板井 | 大田 | 正司 | 森重 | 兼重 | 岡野 | 藏富士 | 金子 | 田中 | 岡田 | 竹重 | 林間 | 同 | 伊藤 | 上重 | 田中 | 石田 | 上野 | 田邊 | 原口 | 同 | 天野 | 西村 | 安藤 | 松田 | 磯金 | 眞重 | 新谷 | 縄田 | 縄田 | 徳本 | 塩見 | 中谷 | |
| | | 進 | 水城 | 美智子 | 時江 | サヨ子 | フジエ | 和男 | 靖恵 | 和子 | 三郎 | 静江 | 律子 | | 末子 | 正男 | 孝子 | 亀治郎 | 哲也 | 貴美子 | 永治 | | アヤコ | 誠一 | 裕 | 興平 | 芳治 | 章 | 茂夫 | 義雄 | 喜徳 | 和彦 | 義雄 | | |

(十二月二十日現在)

公民館だより



◀ キャンドルづくり
少年教育講座



たくましい阿知須の子を育てる町民の広場
とき 1月21日(日)9時30分から
ところ 阿知須町公民館 大講堂

二十一世紀を担う子どもたち
 の心身ともに健全な成長を願っ
 て、町教育委員会とたくましい
 阿知須の子育成協議会では第十
 回「たくましい阿知須の子を育
 てる町民の広場」を開催します。
 当日は、藤田晃三さん(引野)
 の子ども会活動についての発表、

県教育委員会や飯田町長の話、
 さらに、日本H.R研究会イン
 ストラクターの立川和正先生の
 「人間関係と話し方」を基調と
 した講演などを予定しています。
 小学校PTA、中学校教育友会、
 幼稚園・保育園母の会の会員
 を中心に参加者を募集していま
 す。

▽日時 一月十五日(月・成人
 の日)

七草がゆで厄払い

すが、一般の方もふるってご参
 加ください。申し込みは一月十
 一日(木)までに町教育委員会へ。

15日、耐寒ハイキング

町教育委員会では、野山を
 歩いて、七草がゆを食べよう
 という目的で「体力つくり耐寒
 ハイキング」を次のとおり開き
 ます。

▽集合 阿知須町公民館前、午
 前九時受付
 参加申し込みは一月十日(水)
 までに町教育委員会へ。
 春の七草とは「せり、なすな、
 おぎょう、はこべら、ほとけの
 ざ、すずな、すずしろ」のこ
 とを言います。
 また、この七草をおかゆに入
 れたものを「七草がゆ」と言い、
 これを食べると万病を除き災厄
 を払うとして、古くから伝えら
 れています。野菜の乏しい冬
 季に新鮮な植物を食べると身体
 のためによいという習わしです。

◀ 心身の健康。人との出合いを
 大切にしたい。



江本紀代子さん
 (昭和17年
 ・河内)

公民館を よく利用される 午年生まれの みなさん



山田 秀雄さん
 (明治39年
 ・小南)

▲ 第7回迎えの8
 午年生まれ、8
 回目に向かって
 頑張りたい。



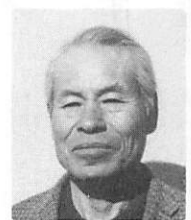
上野 友穂さん
 (昭和53年
 ・岩上)

▶ 勉強にスポーツにいつし
 けんめい頑張りたい。珠算2級
 をめざします。



河野 史子さん
 (昭和41年
 ・赤迫)

▶ “生きる”センスを磨く年
 したい。



岸本大七郎さん
 (大正7年
 ・東)

◀ 元気に無事故でほがらかに、
 若い人に負けないよう頑張りた
 い。



塩谷 栄さん
 (昭和5年
 ・東)

◀ 今年は無基の普及を重点に、
 新しく基を始めたい人のお役に
 たちたい。



西村 朋子さん
 (昭和29年
 ・西条)

▶ 数々のハードルをウマク乗り
 越えて行ける一年にしたい。

今年午年。十一年に一度
 めくってくる当り年を迎えら
 れた午年生まれのみなさん、
 今年も良い年でありませう
 に。

子ども会たこ上げ大会

2月4日干拓

町子ども会育成連絡協議会と
 町教育委員会では二月四日(日)
 午後一時から干拓グラウンドで
 第十七回子ども会たこ上げ大会

町内駅伝の成績

(12/10町体協・町教委主催)

- 総合①岩倉(53分07秒)
- ②赤浜A③旦岡④前山⑤砂郷
- ⑥飛沖⑦河内・源河⑧小古郷
- ⑨赤浜B⑩井関小PTA

○ 区間賞(敬称略)

- ▽一区(小学生)本田貢(河内)
- 源河)▽二区(青年)国重康彦
- (砂郷)▽三区(中学生)金本
- 高志(岩倉)▽四区(40歳以上)
- 山野修三郎(河内・源河)▽五
- 区(高校生)哥川公一(河内・
- 源河)▽六区(30歳以上)西村
- 泰昭(赤浜A)▽七区(青年)



中川俊浩(前山)

阿知須の文化を高める会(兼
 定彰会長)は十一月三日、町芸
 術祭会場での文化に功績のあ
 った人として文芸創作活動の中
 野真琴さん(縄北)絵画の松代光
 正さん(砂)を選彰しました。



「ふるあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画課(有線二一四四)へお寄せください。



町が生まれて50年 私も育てて50年
塩部 義 紀さん 小東 伊藤 恭 子さん 旦北

今年、本町が生まれて五十年になります。そこで、町制施行の昭和十五年生まれの塩部さんと伊藤さんの声を聞いてみました。



阿知須をどのように感じておられますか。まず塩部さんからは「住めば都で、これまでど

みよいところだと思えますね。これからも、町が発展し、公害のない自然の豊かな町になってほしいですね」



「今、いい毎日ですが、いままでとおりの生活をしたい。また、家族全員が健康で過ごせたらいいですね」

消防出初め式

1月5日8時30分から

町消防団の出初め式は一月五日(金)午前八時半から町体育センター前で行われます。開始三十分前の八時にサイレンを一分間鳴らしますので、火事と間違われぬよう。

短歌

本原 百合雄
京都記念坊守さまに届けられ辱けなくて涙溢れる

松重 三次
燭台に明かり灯せば理路のかすかにゆるると見しは僻目か

益弘 吾一
夜ものより護らむ綱を何出でし朝の田の面に羽毛鳴呼

亀村 ヤス子
秋たけて中津谷峡紅葉狩りにつれられて今日の日を

松尾 君代
日が経れば悲しきことも忘れし

か看りし日々の今はなつかし
藤重 アヤ子
すこやかな八十路の夫と漁に出づ平成元年もあとすこしなる

中本 幸枝
霜枯れし大豆田跡の草を刈る去年の蓮田のにぎわいもなし

藤重 幾代
とまどひし平成の元号にも馴染みつつ既に新しき年ぞ来向ふ

砂村 ヤス子
三日月のしづく光れる高き空金星食とも知らず見しわれ

渡辺 宮子
三代を生き来し母に平成はやすらかにあれと念ずるあした

桜井 文子

吐く息に掌あてつつ店に立つ八時間の勤め今始まりぬ

三住 清子

ありがたき御代に生れし幸せを一日一日を明るくすごす

高橋 イハ

たまに合ふ歳おいてきし妹と話しもはずみ時を忘れて

村田 ウメノ

新年を迎えて友と歳重ね仲良く過ぎむ思ひあらたに

田頭 フテ

大輪の菊を支えし小菊などいろいろみごとに活けられてをり

善意はここに

◇広報送料▽原田悦生さん(福岡市南区野間二一二一九ダイナコート野間ガーデン三〇五、北祝出身)

◇香典返し▽上野道宣さん(岩倉前)は母チヨさんの▽縄谷義男さん(恵比須)は父茂一郎さんの

◇香典返し▽古谷幸子さん(飛石)は父繁清さんの▽松井精治さん(井関)は父登さんの▽縄谷義男さん(恵比須)は父茂一郎さんの▽金重正さん(岩倉西)は母トシさんの▽吉村邦昭さん(西条)は祖母タツさんの▽河村幸一さん(縄田北)は母キクエさんの▽小林由仁さん(青畑)は母梅子さんの

◇篤志▽匿名193回▽高井アサ子さん(南祝)は拾得金のお礼を▽匿名3回▽沖永貢さん(小西)

よかなしみ (届出順)

(十二月十九日受付分まで)

出生(おすこやかに)

子の名 続柄親の名 月 日 住所
利重沙緒里 二女 晃 11.26 中村
天野 朋美 二女 和成 12.6 縄田
死亡(ご冥福をお祈りします)
氏名 死亡月日 年齢 住所
荒井ナツノ 11.24 82 杖川
上野 治郎 12.1 79 岩前

ごみの収集日 1月

ごみの収集時間 前日午後五時～当日午前八時

町指定袋の販売

町指定のごみ袋は、各地区環境衛生組合長宅と婦人会支部長(一部)宅で販売します。清掃センターへ直接持ち込みごみを直接センターへ持ち込むのは(月・土)午前八時半～午後二時まで。(祝祭日は出せません)

不燃物ゴミの収集日

(町内全域)	
○ピン、ガラス、灰曜日	
(第1、3木曜日)	
4日	18日
(木)	(木)
○空缶、鉄類	
(第2、4木曜日)	
11日	25日
(木)	(木)

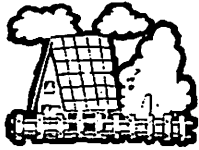
可燃ゴミの収集日

阿小校区 (岩倉を除く) 月・水・金						
(4日)	5日	8日	10日	12日	(16日)	17日
19日	22日	24日	26日	29日	31日	
井小校区 (岩倉を含む) 火・土						
(4日)	6日	9日	13日	16日	20日	23日
27日	30日					

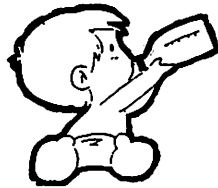
()は変更後の収集日です。

絵で見るわが町

(11月30日現在) ()カッコ内は63年
世帯 2,416戸 (2,389戸)
人口 8,276人 (8,290人)



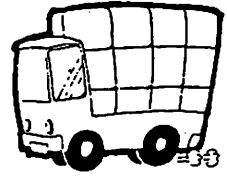
世帯構成 1世帯
3.43人 (3.47人)



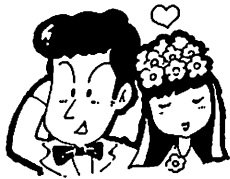
出生 年間 52人 (64人)
男 21人 女 31人



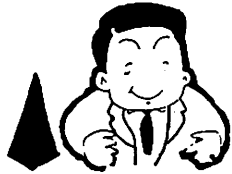
死亡 年間 73人 (74人)



転入 年間 271人(302人)
転出 年間 256人(305人)

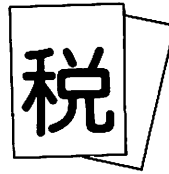


婚姻 年間 24組 (23組)

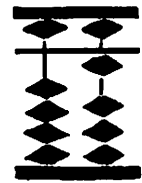


町職員 93人 (93人)

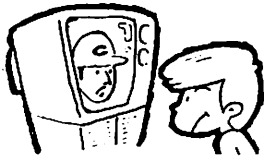
町税 (当初予算)



町民税(個人) 1人当 30,403円
(30,594円)
固定資産税 1世帯当
126,614円 (123,596円)



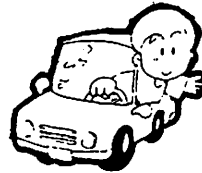
町の予算 1人につき
293,735円(212,595円)



白黒テレビ 50台 (56台)
カラーテレビ 2,202台(2,179台)



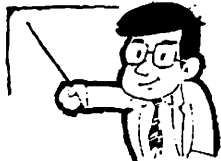
局線電話 2,626台(2,548台)
有線電話 1,554台(1,604台)



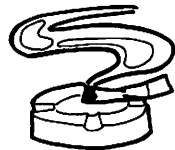
軽自動車 2,045台(1,994台)
二輪・原付 1,204台(1,261台)



水道加入戸数 1,974戸
(1,886戸)



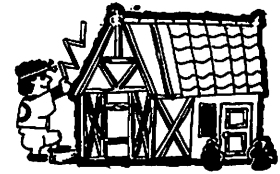
教員 阿小 17人(17人)
井小 9人 (9人)
阿中 22人 (21人)



タバコ1人1日
4.8本 (4.8本)



交通事故 年間
144件 (123件)



建築 年間 143件(120件)
建築確認申請(新・増・改築)

人の動き	メ	モ	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
住民登録 (平成元年12月24日現在) 人口…8,285人 (男…3,843人) (女…4,442人) 世帯…2,420 昭和60年国勢調査 [人口…8,407人] [世帯…2,334] 12月の動き 出生…2人 死亡…1人 転入…15人 転出…7人	1月10日	110番の日		査(公、後1時半)	一歳六か月健診・三歳児健診(公、後1時) 婦人健康診	親子読書(公、前10時)				乳幼児衛生教育(役、後1時)			たくましい阿知須の子を育てる広場(公、前9時半)			心配ごと相談(社会福祉センター、前10時) 機能訓練(公、後1時半)	婦人学級(公、前9時半)	体力づくり耐寒ハイキング(公、前9時)			きり絵教室(公、後1時半)	三種混合(役、後1時半)	乳幼児学級(公、前9時半)	健康相談(役、前9時半) 育児相談(役、後1時半)	阿小、井小、阿中始業式				消防出初め式(前8時サイレン吹鳴)	
	納税	町民税	国民健康保険税																											

町民カレンダー1月

(役場
公民館
体育センター)

年度当初1月19日に予定していた1歳6か月児健診と3歳児健診の日程が変更になりました。
ともに1月30日(火)の午後1時から町公民館2階で行います。お間違えのないように。